

保証書

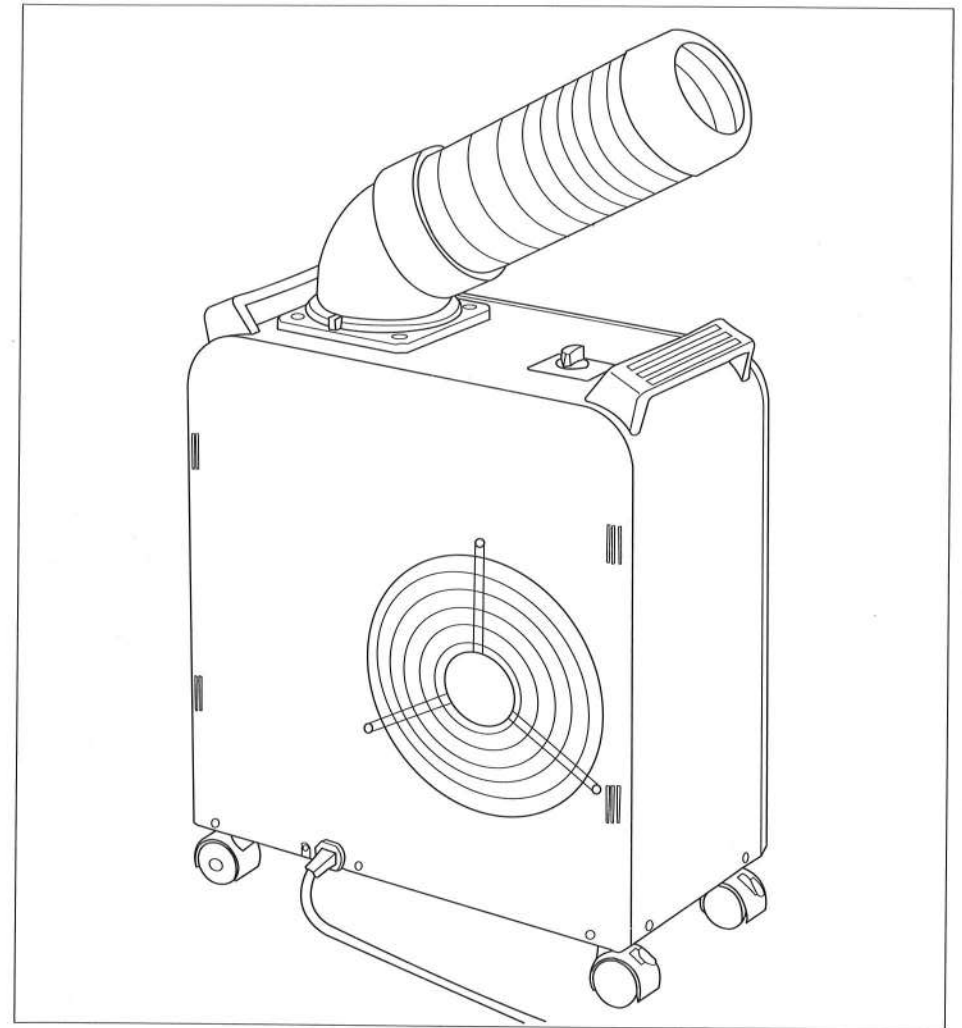
保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	スポットエアコン SSA-160		※お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	1年
※お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
※販売店	住所名	〒 ()		

(注)※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

スポットエアコン SSA-160 取扱説明書



このたびはスポットエアコンをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保管してください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

目次

1.ご使用前に	安全上の注意事項 警告/注意	P1~5
2.仕様明細		P6
3.各部の名称	付属部品名	P7
4.ご使用前の準備	ダクトの接続、設置場所、電源の接続	P8~11
5.使用方法	スイッチの操作、除湿水の排出、保護装置について	P12~14
6.保守・点検	フィルターの掃除、使用後の手入れ、アフターサービス	P15~17

ご注意

①本機は、室内に常設されているエアコンとは異なり、持ち運び可能な簡易型エアコンです。長時間の連続運転には適しておりません。周囲の環境により異なりますが、約6時間を目安としてご使用ください。

②本機の運転開始直後に、騒音や振動が発生することがあります。これは、コンプレッサの初期作動時による騒音や振動で、異常ではありません。そのまま数分間冷風運転を続けると、騒音や振動は減少いたします。

③本機を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊な用途での使用は、品質低下などの原因になることがありますので、安全を確認してからご使用ください。

④本機の据え付けや気工事などが必要な場合は、お買い上げの販売店、又は、専門業者にご相談してください。工事に不備があると感電や火災の原因になることがあります。

※本機の電圧は、単相・交流100V専用です。表示を超える電圧や直流電源、エンジン発電機では、ご使用できません。

※運転開始約3分間は冷風運転はできません。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みになって、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用ください。
- 注意文の〔△警告〕、〔△注意〕の意味について
ここに示した注意事項は、ご使用者や他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。〔△警告〕と〔△注意〕に区分してお知らせしています。

△ 警告

誤った取扱をしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合のご注意。

△ 注意

誤った取扱をしたときに、使用者が障害を負う可能性が想定される場合のご注意と、物的損害が発生する可能性を想定したご注意。

ただし、〔△注意〕に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全にご使用いただくために、重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告・注意文のマークの例

△(三角)マークは、警告・注意を促す内容があることを告げる物です。マークの中に具体的な警告内容を示しています。
下のマークは「感電注意」を意味しています。



○(丸)マークは、禁止の行為であることを告げる物です。マークの中に具体的な禁止内容を示しています。
下のマークは「分解禁止」を意味しています。



●(黒丸)マークは、行為を強制したり指示することを告げる物です。マークの中に具体的な禁止内容を示しています。
下のマーク左は「差込みプラグを抜く」右は、「強制」を意味しています。



製品の搬入・移動の注意

⚠ 注意

- 本機の搬入・移動では、重心・重量のバランスを考慮して作業をしてください。
- 落下・破損などにより、思わぬケガの原因になります。
- 搬入・移動でやむをえず本機を持ち上げるときは、腰だけがかがめず、膝も曲げて持ち上げてください。
- 腰を痛める原因になります。
- 搬入・移動では、必ずドレンタンクを空にしてください。
- ドレン水がこぼれると、本体内部に浸水して感電・漏電の恐れがあります。
- 本機を横倒しにした状態での移動や、運搬をしないでください。
- 本機の破損・故障の原因になり、感電や発火の恐れがあります。
- 本機の移動では、必ずハンドルを持って移動してください。
- 電源コードを引っ張っての移動は絶対にしないでください。
- コードの切断やショートの原因になります。



感電注意



水抜き



感電注意



製品の使用上の警告、注意

⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。
- 表示を超える電源に接続しますと、モーターの回転が異常に速くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- 使用前に電源コード、差し込みプラグを点検してください。
- 電源コード、差し込みプラグを傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しますと、火傷、感電、火災の恐れがあり危険です。



100V以外



感電注意



感電注意



⚠ 警告

- 可燃性の液体やガスのある所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。

例：ガソリン・灯油・シンナー・ベンジン
塗料・その他引火・爆発の危険があるもの。
アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛
化学物質などの爆発性粉じん・ガス・蒸気などの近くでは使用しない。



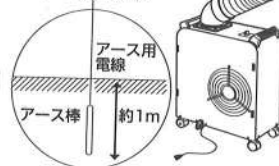
禁止



- 感電事故防止のため、必ずアースを取り付け、漏電ブレーカー（市販品）を使用してください。
- 故障や漏電のときに、感電する恐れがあります。

●アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続する電気工事は、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談ください。

アース線に接続



- 定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。
- 他の器具と併用しますと、分岐コンセントが異常に発熱して発火することがあります。

コンセントを単独で使用



- 本機に水をかけたり、油をかけたりしないでください。
- 火災・感電・漏電の恐れがあります。



感電注意



- 著しく金属を腐食させるガスや蒸気が発生、存在する場所では、使用しないでください。
- 絶縁不良による感電や発火の原因になります。



禁止



- 差し込みプラグの金属部や取付け面にほこりが付着している場合は、よく拭き取ってください。
- 火災の原因になります。



ほこりを拭く



ほこり

- 故障の際は、必ず修理に出してください。絶対にご自分で分解したり、改造をしないでください。
- 火災・感電・異常作動の恐れがあります。



分解注意

感電注意



⚠ 注意

●取扱説明書に記載した製品仕様以外では、使用しないでください。

●漏電・感電・火災・水漏れなどの原因になります。



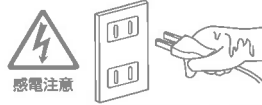
●車両・船舶に搭載しての空調用としては、使用しないでください。

●漏電・感電の原因になります。



●濡れた手で、差込みプラグやスイッチなどの電気配線部には触れないように注意してください。

●感電の恐れがあります。



●冷風を、長時間体に直接当てないように注意してください。

●集中して冷風を直接体に当てると健康を害する恐れがあります。



●本機は、20℃、60%～40℃、60%の運転可能条件の雰囲気内でご使用ください。

●感電・火災・故障などの原因になります。



●本機の起動、停止の操作は必ずスイッチで行ってください。

●差込みプラグの抜き差しによる操作をしますと、感電や火災の原因になります。



●カーボン・鉄・鋳物・アルミなどの粉じんが発生する場所では使用しないでください。

●感電やショートにより発火の原因になります。



●スポットエアコンは、振動がなく、傾斜のない平坦な場所で安定した状態で使用してください。

●転倒によるケガや、水漏れによる感電事故の原因になります。



●台に乗せたり、机の上などに置いて不安定な状態で使用してください。

●本機の転倒、落下などによりケガの原因になります。



●本機を、火気の近くでは使用しないでください。

●本体の熱変形でショートによる発火の原因になります。



●本機に、物を載せたり、乗ったりしないでください。

●落下物や転倒などによりケガの原因になります。



⚠ 注意

●本機の上面に、水の入った容器などを載せないでください。

●水がこぼれたり、漏れたりしますと本体内部に浸入し、漏電・感電事故の原因になります。



●本機の据え置き時は、底面に取付けられているキャスター(車輪)のストッパーを確実に固定側にしてください。

●運転時や不意な移動により、思わぬケガの原因になります。



●本機を雨中に放置や、水のかかるところで使用しないでください。

●絶縁劣化による感電・漏電・火災などの事故や故障の原因になります。



●空気中の浮遊粉じんの多い場所での使用では、必ず定期的に内部の掃除をしてください。

●感電やショートによる発火の原因になります。



●排気口の中に指や手を入れないでください。

●思わぬケガの原因になります。



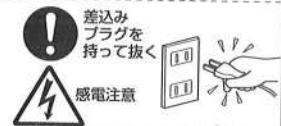
●フィルターは、必ず取り付けてご使用ください。

●フィルターを外したままでは、熱交換機が露出しケガの原因になります。



●差込みプラグを抜くときは、電源コードを持って引っ張らず、必ず差込みプラグを持って引き抜いてください。

●コードの切断や感電・ショートして発火の原因になります。



●使用時以外は、差込みプラグを電源コンセントから必ず抜いてください。

●絶縁劣化による感電・漏電・火災やケガ・やけどなどの原因になります。



●使用中、本機の異常に気づいたときは直ちにスイッチを切り、プラグを電源から抜いてお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください。(または修理に出してください。)

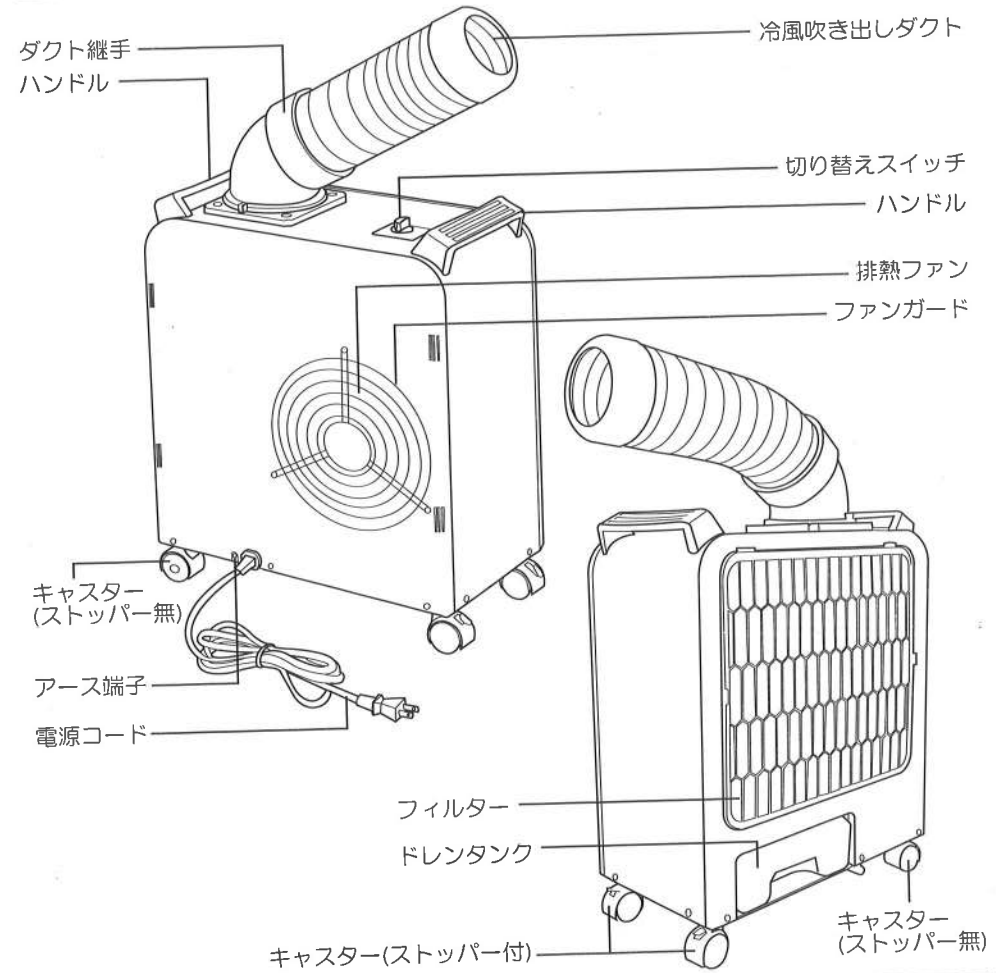
●感電・漏電・ショートなどにより火災の恐れがあります。

仕様明細

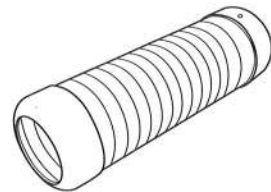


型	式	SSA-160		
電	圧	AC100V		
周	波	数	50/60Hz	
運	転	電	流	6.8/7.2A
始	動	電	流	25.1/23.3A
消	費	電	力	620/710W
冷	房	機	能	1.4/1.6KW
圧	縮	機	出力	0.47KW
送風機	冷風側	風量	4/4m/min	
		出力	30W	
	排熱側	風量	5/7m/min	
		出力	10W	
力	率	91/99%		
冷媒・冷媒封入量	HCFC-22, 310g			
電源コード	約2.1m			
機体寸法(ダクトは含まず)	460(長さ)×285(幅)×580(高さ)			
質	量	約21.6kg		

※ 冷房能力・消費電力・運転電流は周囲温度35℃、相対湿度60%で運転した時の値です。
 ※本機は改良のため予告なしに仕様を変更することがあります。

各部の名称



付属部品名

冷風吹き出しダクト	ダクト継手	ドレンタンク
		
		容量約2.8L

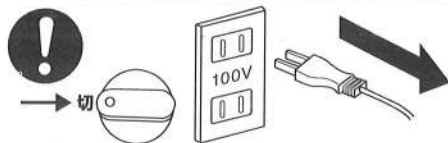
ご使用前の準備

⚠ 警告

- 本機を安全にご使用いただくために、先に1ページ「安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと」を、必ずお読みになって正しく安全にご使用ください。

⚠ 注意

- ご使用前の準備では、必ずスイッチが切れていることを確認してください。
又、差込みプラグを電源から抜いて行ってください。



■冷風ダクトの接続方法

●ダクト継手の接続

- ①本体上部の、冷風吹き出し口凹部4カ所(広い×2狭い×2)にダクト継手の凸部(4カ所)を合わせて差し込んでください。(図1参照)
- ②ダクト継手つまみ部下のL形凸部(2カ所)を、冷風吹き出し口の幅の広い凹部(2カ所)に合わせてください。
- ③ダクト継手の両側のつまみ部を持ち、固定矢印側に回してください。(図2参照)
- ④冷風吹き出し口凹部と、ダクト継手凸部の噛み合わせはきつくしてあります。

カチット音がして止まった所が固定箇所です。

- ⑤ダクト継手を引っ張って、外れないかを確認してください。

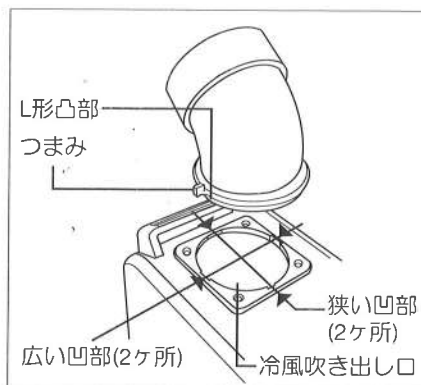


図1

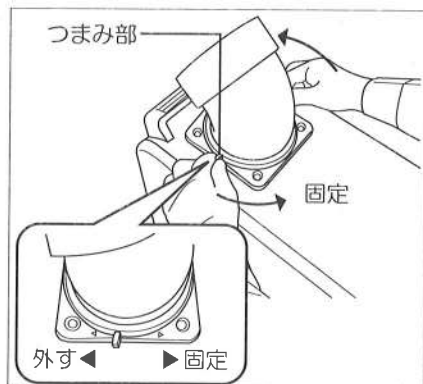


図2

●冷風吹き出しダクトの接続

- ①冷風吹き出しダクトを、両手で引き延ばしてください。
- ②冷風吹き出しダクト突起部(2カ所)を、ダクト継手凹部(2カ所)に合わせて差込みます。(図3参照)
- ③右回し(時計回り)で止まる所まで回してください。

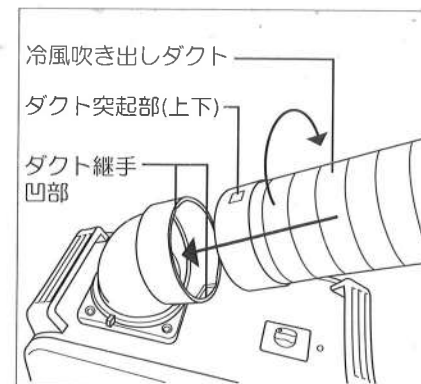


図3

■冷風ダクトの取外し方法

- ①冷風吹き出しダクトを左に回し、止まった所で引き抜いて外します。
- ②ダクト継手のつまみ部両側を持ち、外すの矢印側に回してダクト継手を外してください。

■冷風吹き出しダクトの風向調節

- 冷風吹き出しダクトは、フレキシブルタイプです。可動範囲内の上下位置と、ダクト継手を回転させることで風向を調節することができます。

- ①水平にダクト継手を回転させ、風向を360度で任意の位置に合わせます。(図4参照)
 - ②ダクト継手を手で押さえ、冷風吹き出しダクトを静かに可動範囲内で任意の上下位置に合わせます。(図5参照)
- ③無理な折り曲げをしないでください。吹き出しダクト・ダクト継手の破損の原因になります。
- ④冷風吹き出しダクトの中に物を落としたり、棒などを差し込んだりしないでください。破損・故障の原因になります。

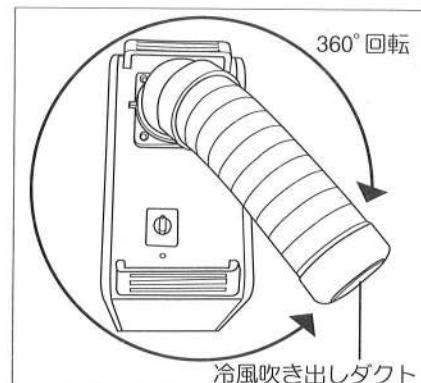


図4

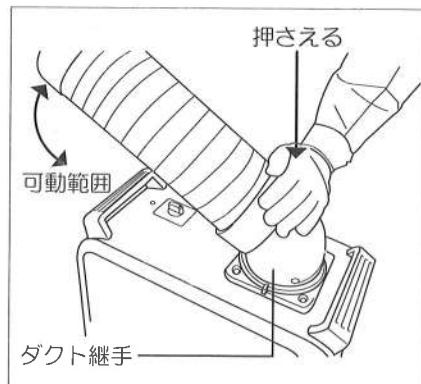


図5